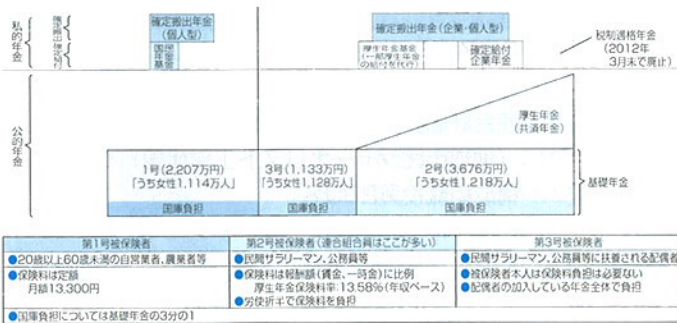


安心・信頼 できる年金制度に!

今年には5年に1度の年金改革の年です。政府は改革案骨子を取りまとめ今通常国会に改正法案をする予定です。連合も年金改革に向けた基本方針を掲げ、政府案の問題点に対する意見反映に取り組んでいます。

連合はこの不安・不信を安心・信頼できる年金制度へ改革するために政府案に対し連合の改革案を示しています。

では、現在の年金制度はどうなっているのでしょうか。



○公的年金受給者数 2.951万人 (2001年度末現在)
○公的年金受給者の年金総額 40% 7,480億円 (2001年度末現在)

この、現在の年金制度は「少子高齢化」や「保険料の引き上げ、給付額削減の繰り返し」によって増大された不安・不信のために「空洞化」が起きています。

項目	連合案 (第22回中執行委員会2003.5.9で確認)	政府案 (政府・与党で合意されている部分以外は、2003.11月の厚生労働省案)
制度体系	2階建て方式(基礎年金と報酬比例年金) 賦課方式	2階建て方式(基礎年金と報酬比例年金) 賦課方式
基礎年金の財源	税方式(できるだけ早く国庫負担を1/2に引き上げ2009年改正時には全額税方式とする) 1/2一般財源 1/3年金目的国庫負担 1/6事業主負担(社会保険料相当分) 年金目的国庫負担は、消費税率換算で、2009年:2.5% 2025年:3%(連合試算)	政府・与党ですでに合意 保険方式(保険料財源1/2、国庫負担1/2) 国庫負担割合1/2への引き上げ(2009年度までに実施) 2004年度 年金課税の見直しによる増収分を充当 2005年度 年金課税の軽減、廃止とあわせ、三位一体改革の中で、国・地方を通じた個人所得課税の抜本的見直しにより、安定した財源を確保し、適切な水準に引き上げ 消費税を含む抜本的税制改革を実現した上で、2009年度までに完全引き上げ
報酬比例金の財源	保険方式(賃金に対して定率の保険料、労使折半) 保険料14.6%(2025年、連合試算)	【政府・与党ですでに合意】 保険方式(賃金に対して定率の保険料、労使折半) 2004年10月より毎年0.354%ずつ引き上げ 「保険水準固定方式」の導入 最終的な保険料水準 当面18.35% (法案提出までにさらに引き下げについて調整)
給付水準	1999年改正前の給付水準を将来も維持 59%(手取り年金、親族手取り年収比で55%) ・水増し給付のため ①基礎年金水準は、報酬比例部分の5%相当分を引き上げ(月額6.7万円→7万円) ②公的年金所得スライドを復活	【政府・与党ですでに合意】 「マクロ経済スライド」の導入 スライド調整率により年金水準を調整(引き下げ) スライド調整率=公的年金被保険者数の減少+平均余命の伸びを勘案した一定比率(0.3%)→年金率-0.9% 年金給付水準は、現給付率(手取り年収比で55%)を確保 厚生年金の最終保険料率を18.35%に固定した場合 →基準ケースで、2022年に以降モデル年金の所得代替率50.1%(原案59.4%)

私たちが安心して将来をむかえるために、今こそ大きな変換のときではないでしょうか？安心と信頼、公平な年金に向けていっしょに行動しましょう！

もっと詳しく知りたい方は、
連合ホームページへ <http://www.jtuc-rengo.or.jp/nenkin/>

身付随となり、心がずさみ果てていくが、車椅子でも可能な気柔術と出会い、再び人生の喜びを取り戻していく。涙をそそるシーンが目立つというわけではないが、少しずつ心が開いていく姿が印象的だ。

そして、私の中の「感動」はライブ感。昨年はコンサートに3回足を運んだ。決して良い席とはいえないが、豆粒ほどにしか見えないのに、テレビ画面では見せない表情が見える。(かなりミーハー??)

そしてそして、劇団四季「マンマ・ミーヤ」。四季の代表的作品「ライオンキング」「キャッツ」もロングランで名実ともに代表的な作品であるが、「マンマ」も負けていない。舞台効果や出演者の衣装はとてもシンプル。「A B B A」の軽快な曲とコミカルな演出は本来のミュージカルの『歌と踊り』にウソがない。感動する。

連合地協では、ライブ感たっぷりの野球観戦ツアーや観劇ツアーなどなど数多くの企画予定している。アンテナを張り巡らせて、皆さんもたくさんの「感動」体験をしてみてください。<鼎>

とっておきの散歩道 No.7

日本映画製作者連盟が発表した、昨年の興行収入が過去最高となった。また「ラスト サムライ」の渡辺謙さんの活躍で巻き起こった「サムライ旋風」も記憶に新しい。

～さて今回は、涙を流すだけが感動ではない、
観て!感動を体験!!の話～

映画館での鑑賞は年に数本だった私が、昨年来から月に数本見るようになった。テレビドラマもなんだかストーリーの面白みに架けて、出演者で視聴率が左右されているのに疑問をもち…気がつけば、携帯サイトで放映時間のチェックをしている。

私の中のコンセプトは「感動」。そんな中、印象に残っているのは、「AIKI」。ボクサーの太一(加藤晴彦)は交通事故で下半

編集後記

いつの頃からか、他人と同じ生き方ではつまらないと思って生きてきた。「ごく普通に」と思って生きるのも悪くはないが、やっぱり一度きりの人生、波乱万丈の方が面白い。労使セミナーで岡野さんがしきりに言っていた『浮いている』と『感性』という言葉。とても印象的で考えさせられるものだった。私も『感性』豊に生きたいと思う。残り少ない第8期も…。イ姉

せごねのらじお

厚顔無恥という言葉があるが、今では自民党「小泉首相」に最も相応しい言葉ではないのか。

政権発足時の公約として、民主党などが危惧を指摘していた国債三〇兆円の枠が守れなくなった時は、そんなこと「たいたことない。」と言い切り。

最近のイラク派兵問題の国会論戦においては、治安問題に対する認識を問われ「現地の状況などわかる訳がない。」と開き直る様は正に「開いた口が塞がらない。」とはこのことであると強く思った。

開き直りの答弁を崩すことのできない状況も問題であるが、これにエールを送る党議員はどのような思いを持って議員となったのであろうか。

イラク復興は大切であるが、数さえ多ければ何でもありの国会では、政治不信を増すばかりである。

※環境保護のために古紙100%再生紙を使用しています

